

Week of August 10, 2025 - Do Everything in a Decent & Orderly Manner　　Small Group Lesson 31

知り合う

あなたが何か話したいことがあったのに、話の途中で他の人にさえぎられて、最後まで言い終える前に相手が話し始めてしまった、という経験はありますか？

その時、どんな気持ちになりましたか？

もしそのような経験がなければ、その状況を想像して、自分ならどう感じるか考えてみてください。

聖句　コリントの信徒への手紙一 14:26-40（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

26 きょうだいたち、それではどうすればよいでしょうか。あなたがたが集まるときには、それぞれほめ歌を歌い、教えを説き、啓示を語り、異言を語り、それを解き明かしますが、すべては教会を造り上げるためにすべきです。27 異言を語る者がいれば、二人か多くて三人が順番に語り、一人は解き明かしをしなさい。28 解き明かす者がいなければ、教会では黙っていて、自分と神に対して語りなさい。29 預言する者も、二人か三人が語り、他の者はそれを検討しなさい。30 座っている他の人が啓示を受けたら、先の人は黙りなさい。31 皆が学び、皆が勧めを受けるように、一人一人が皆、預言できるようにしなさい。32-33 預言者に働きかける霊は、預言者に服従するものです。神は無秩序の神ではなく、平和の神だからです。聖なる者たちのすべての教会でそうであるように、34 女は、教会では黙っていなさい。女には語ることが許されていません。律法も言っているように、服従しなさい。35 何か学びたいことがあれば、家で自分の夫に尋ねなさい。女が教会で語ったりすることは、恥ずべきことです。36 それとも、神の言葉はあなたがたから出て来たのでしょうか。あるいは、あなたがたにだけ来たのでしょうか。37 自分は預言者か霊の人であると思っている者は、私があなたがたに書いてきたことは主の命令であると認めなさい。38 それを認めない者は、その人もまた認められないでしょう。39 私のきょうだいたち、こういうわけですから、預言することを熱心に求めなさい。また、異言を語ることを禁じてはなりません。40 ただ、すべてを適切に、秩序正しく行いなさい。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか?

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. 26節でパウロは、皆さんが集まるときには、一人ひとりが賛美や教えなど何かしらを用いて貢献し合っていると述べています。これら全てが目指すべき、究極の目的とは何であるとパウロは述べていますか？では、賜物（たまもの）そのものが持つ目的も同じでしょうか？

2. 教会での集会において、パウロは次の2つの賜物（異言・預言）を用いる際に、それぞれどのような具体的なルール（制限）を定めていますか？また、これらのルールが定められている目的は何でしょうか？

3. 32節で、パウロは「預言者に働きかける霊は、預言者に服従するもの」だと述べています。これは、実践において（教会での礼拝が実際に行われる中で）、どういう意味を持つのでしょうか？また、この考え方は、33節にある「神は無秩序の神ではなく、平和の神」であるという教えと、どのように関係していますか？

4. パウロはこれまで、教会の分裂を引き起こすような「人間が作ったルール」に、しばしば異議を唱えてきました。そのことを踏まえると、私たちがキリストにあって一つであり続けることの重要性について、どのような気づきが与えられますか？

分かち合い

話し合い　その１：
武牧師は、「現代の私たちにとって、個人的な『預言』は、スモールグループや、形式ばらない集まりの中で起こることが多い」ことを語りました。サマリアの女性のように、神様の恵みや素晴らしさについて分かち合える証や最近の体験はありますか？

話し合い　その２：
もし、教会の目標が「教会を造り上げる」ことであるとするなら、教会を、単に「サービス」を受けるだけの場所ではなく、「私たち一人ひとりが貢献し、ささげる場所」として見なすことは、あなたの教会への向き合い方や関わり方は、どのように変わりますか？

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。